

平成 31 年 度  
一 般 入 学 試 験 ( 前 期 ② ) 問 題

# 国 語

(薬学部・看護学部・健康医療科学部)

## 注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子と解答用紙（マークシート）は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に下記①～④の記入欄があるので、監督者の指示に従ってそれぞれ正しく記入し、マークしなさい。
  - ① 氏名欄 氏名およびフリガナを記入しなさい。
  - ② 受験番号欄 受験番号（数字および英字）を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
  - ③ 試験種別欄 【一般前期2日目】にマークしなさい。
  - ④ 教科・科目欄 【国語】にマークしなさい。
4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解 答 番 号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

**I**

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

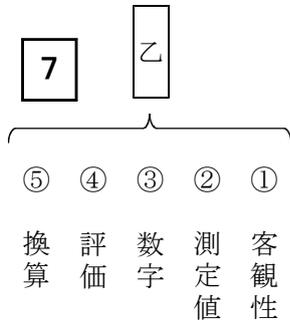
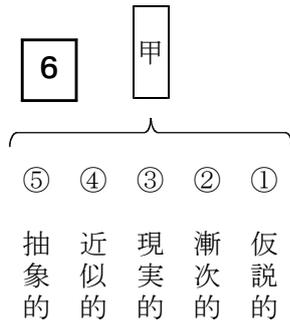
この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

(森博嗣『科学的とはどういう意味か』による。)

問1 傍線部㉞㉟の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ㉞<br>シ<br>セツ     | ㉟<br>フ<br>セイ    |
| 3                | 1               |
| ④ ③ ② ①          | ④ ③ ② ①         |
| ④ ロウシで賃金について交渉する | ④ セイホウケイ        |
| ③ 建築シザイを販売する     | ③ セイチな描写の絵画     |
| ② 寺におフセをする       | ② セイジュクした大人の態度  |
| ① セゾクに染まる        | ① 自白と証拠がセイゴウしない |
- 
- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ㊥<br>タイ<br>サク   | ㊦<br>カク<br>リツ  |
| 4               | 2              |
| ④ ③ ② ①         | ④ ③ ② ①        |
| ④ シコウサクゴする      | ④ 先生が生徒をインソツする |
| ③ 予算をサクゲンする     | ③ ピアノのチョウリツ師   |
| ② サクイ的に仕組まれた事件  | ② キリツして礼をする    |
| ① 陰であれこれとカクサクする | ① ノウソツチュウ      |



問 2 空欄 甲 乙 に当てはまることばとして最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選



問3 空欄 a 〓 e に当てはまることばとして最も適当なものを、次の①〓⑦のうちから一つずつ選べ。(①〓⑦は

それぞれ一度ずつしか使えない)

- ① たとえば
- ② だから
- ③ しかし
- ④ というのは
- ⑤ さらに
- ⑥ すべからく
- ⑦ つまり

a の解答番号：… 8

b の解答番号：… 9

c の解答番号：… 10

d の解答番号：… 11

e の解答番号：… 12

問4 波線部「これは大変貴重なものです」とあるが、このような言説を筆者はどのように特徴付けているか。最も適当な

ものを、次の①〓⑤のうちから一つ選べ。 13

- ① イメージでの把握
- ② 基準による想像
- ③ 仮説的な物言い
- ④ 主観的説明
- ⑤ 定量的評価

問5 本文中から次のA・Bの文章が省略されている。それぞれ【1】～【8】のどこへ挿入するのが最も適当か。後の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

A 普段から数字を拒絶していると、数々の数字が示す大小を即座に頭に思い描けなくなるのである。

14

B 科学は、このように、普遍性を維持するための仕組みといっても良い。常にそれが再現できること、誰にも観察ができること、それが科学の基本である。

15

- ①【1】 ②【2】 ③【3】 ④【4】 ⑤【5】 ⑥【6】 ⑦【7】 ⑧【8】

問6 本文の趣旨に合致するものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

16

- ① 実験には間違いが付きもので厳密な条件設定を目指して実験を繰り返しても有益な成果は得られない。  
② 科学の発展のためには研究者間での情報公開と単位の統一をいっそう推進していかなければならない。  
③ 高さや重さや広さはイメージでとらえるのではなくそれを表す数値を基準にして把握するべきである。  
④ 人の感覚はしばしば思い込みによる誤謬を犯すものなので客観性のある数字を参照し活用するとよい。  
⑤ 数値から高さを思い描けずにその都度メジャで確かめるような人は数学的センスが極めて凡庸である。

## Ⅱ

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

(桑子敏雄『感性の哲学』による。)

(注) 1 この名山Ⅱ武甲山。埼玉県秩父市南部にある山。古来、信仰登山が盛んであった。

2 秩父の夜祭りⅡ秩父市の秩父神社で毎年行われる祭礼。

3 秩父三十四カ所観音霊場Ⅱ古くから庶民の間で信仰されてきた、秩父地方の三十四カ所の観音霊場。

問 1 空欄 a ( e ) に当てはまることばとして最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選

ぶ。

17 a

⑤ ④ ③ ② ①

相対化 依存 独立 崩壊 困窮

18 b

⑤ ④ ③ ② ①

古代文化 近代化 豊かさ 風景 特有

19 c

⑤ ④ ③ ② ①

歴史 存在 象徴 過去 現在

20 d

⑤ ④ ③ ② ①

文化的 不愉快 相対的 不可分 対照的

21 e

⑤ ④ ③ ② ①

閉塞感 現実 不便 理想 虚無

問 2 傍線部 A 「実現すること」 とあるが、この「で」と文法的に同じ語を含むものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

22

- ① 万年筆で署名します。
- ② 早く対処することである。
- ③ お昼でも食べましょうか。
- ④ 思ったほど静かでない。
- ⑤ 書類をまだ読んでない。

問3 傍線部B「この意味で」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選べ。

23

- ① 身体的空間は、東洋の山水の風景とは異なるということ。
- ② 空間がその表情を現してはじめて、風景となるということ。
- ③ 東洋では、風景のことを古来山水と呼んだということ。
- ④ 山水の風景は、風景のプロトタイプと言えるということ。
- ⑤ 山水の風景は、たんなる風景ではないということ。

問4 傍線部C「盆地は、人間が身体的存在であることを強く意識させる」とあるが、筆者の考える「身体的存在」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

24

- ① 人間はふだん歴史や文化を意識することはほとんどなく、ただ物質的な豊かさを求めて生きる存在であるということ。
- ② 人間は、結局、山に囲まれた自然の中で、ただ自然の豊かさや奥深さを求めて生きる存在であるということ。
- ③ 人間は時々都会を離れて自然と一体にならなければ生きていけない、微妙で不思議な存在であるということ。
- ④ 人間は自分の心と深いところで結びつく、奥行きをもった風景に包み込まれている存在であるということ。
- ⑤ 人間はもともと奥深いものを見たい、知りたいという欲求を抑えきれない活動的な存在であるということ。

問5 傍線部D「思わず笑いをもらす」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうち

から一つ選べ。

25

- ① グローバルな空間に対して、ローカルな空間はいかにもスケールが小さく、それがとても可愛らしいから。
- ② グローバルな空間とは異なって、ローカルな空間での体験はいかにも幅が狭く、それに軽蔑を覚えるから。
- ③ ローカルな特定の空間の共有は、グローバルな視点からすれば、しょせん偶然の小さなことからすぎないから。
- ④ たまたま特定の空間を共有し、お互いの履歴が重なることが、心地よい同郷意識をもたらすから。
- ⑤ 広大な宇宙空間でたまたま一生を得た人間どうしが、たがいに小さな時空しかともにできなかつたから。

問6

傍線部E「人生の豊かさ」とあるが、筆者の考える「人生の豊かさ」とはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

26

- ① 人間は身体的な存在であり、空間的な存在であって、その人の人生がどれほど豊かであったかということは、その人がどれほど豊かな空間で人生を送ったかということと切り離すことができない。
- ② 人間は自己の履歴とかかわる風景を失ったときに、しばしば人生のむなしさを感じるので、人生の豊かさを求めるなら、自己の欲望とは切り離された清浄な風景を守っていかなければならない。
- ③ 人生の豊かさは、俗塵を離れた理想的な自然の風景の中にしかありえず、そうした場所で自然の奥行きと自己の心の奥行きとを結びつけることによってはじめて見えてくる。
- ④ 人生の豊かさは、物質的な豊かさを追求すると同時に、たまたま同一の空間と時間を共有し、ローカルな体験を共有する同郷の人々との絆を大事にすることによってのみ与えられる。
- ⑤ 人が生きた証は、ローカルな身体空間の相貌と自己の存在を関係づけることによってむしろ見失われるのであって、グローバルな経験の豊かさこそが、人生の豊かさの源泉となる。

### Ⅲ

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することが出来ません。

(堀口大學「柚子の話」による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

(注) 1 平塚 〓 神奈川県平塚市のこと。

2 葉山 〓 作者の家がある場所。神奈川県三浦郡葉山町。

3 唐変木 〓 物わがりの悪い人物をののしって言う言葉。

4 弥彦山 〓 新潟県の西蒲原郡弥彦村と長岡市との境界にある山。

5 しん粉 〓 新粉とも。米の粉のこと。

問 1 傍線部㉞㉟の語句の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選ぶ。

㉞ 鶴のひと声

27

- ① さまざまな意見を押しえつける有力者の一言
- ② 鶴の鳴き声のような目立つ一言
- ③ 騒然とした場を静かにさせる権威者の一言
- ④ 反対する者を威嚇する権力者の一言

㉟ 仏頂づら

28

- ① 仏のような無表情
- ② 不機嫌な顔つき
- ③ 見た目は穏やかな顔つき
- ④ すべてをあきらめた顔つき

㉟ いつくしんで

29

- ① 子を育てて
- ② 母親代わりになって
- ③ 気の毒がって
- ④ 愛情を注いで

㊦ 野趣にあふれた

30

- ① 見た目が粗末な
- ② 素朴な味わいの
- ③ 洗練された
- ④ 食べにくい

㊧ 起死回生

31

- ① 病気がただちに治る
- ② 最後に逆転する
- ③ どのような病にも効く
- ④ 一気によい方向に立て直す

問2 波線部(甲)～(丁)のうち作者が主語となるものはいくつあるか、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 一つ
- ② 二つ
- ③ 三つ
- ④ 四つ

問 3

空欄 a

b

に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

① a ベっぴんさん

b 祖母

② a お嬢さん

b 家人

③ a 花嫁さん

b 柚子坊

④ a 奥さん

b 大坊

問 4

傍線部 A 「あきれ顔に眺めていた」とあるが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選

べ。

34

① 植銀の親方は、大きなとげのある柚子は普通の家の庭にふさわしい木でないこと、手入れも大変であることをそれとなくわからせようとしたが、作者は耳を傾けず強引に柚子を庭に植えると言い張ったため。

② 植銀の親方は、草ぼうきのような貧相な柚子を花壇のまんなか植えるなどという美意識に強い疑念を抱き、物好きにもそんな木を植えようとする作者に対し、まったく理解できない気持ちになったため。

③ 植銀の親方は、大きな柚子の木をわざわざ四季折々の草花が咲く花壇のまんなか植えようとする、素人同然の作者の非常識な依頼に植木屋としてとても納得できない気持ちになったため。

④ 植銀の親方も作者の妻も反対しているのに、植木や庭のことなどなんにも知らない作者が、大きな柚子の木を庭のまんなか日時計のように植えようとする、その普通では考えられない決断に驚かされたため。

問5 傍線部B「それでも満足だった」とあるが、「それ」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① 平塚の農家で家の隅に置き忘れられたように植わっていた柚子の木は、背丈ばかりひよろ長く葉の茂りかたも偏っていて不格好であり、あまり良い木ではなかったこと。
- ② 片身をそがれた大きな草ぼうきを逆さに立てたような柚子の木は、ただでさえ反対であった植銀の親方や作者の妻から批判されていたこと。
- ③ ひと冬の風雪にさらされた柚子の木は、葉も抜け落ちてみすばらしく、作者が心待ちにしていた柚子の実をつけるかどうかわからなかったこと。
- ④ 家に来た柚子の木は、平塚の農家では屋敷の隅に置き忘れられたみたいに植わっていたものらしく、作者が長年心に思い描いていた理想の柚子の木ではなかったこと。

問6

本文の内容に合致しているものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 植銀の親方と若い衆は、平塚からとげだらけの痛い木を根に土を十分つけて大きく掘り、重い思いをして葉山くんだりまで曳いて来たため、疲労困憊で気分がよい状態ではなかった。
- ② 作者は、二年もの間、大きな柚子の木を探し続けており、ようやく平塚の農家では屋敷の隅に置き忘れられたみたい
- に植わっていた木を見つけ、拝むようにして譲り受けた。
- ③ 作者が、庭に柚子の木を植えることにここまでこだわったのは、十四年の欧米生活では、自分とは切り離せない関係の柚子の香と縁遠い生活を強いられたことにある。
- ④ 作者の柚子に対する幼少期から続く愛着と、最高の待遇を木もありがたいと感じていたためか、移植してすぐによい香りの花をさかせ、実もたくさん実らせた。